

# エコアクション21 環境経営レポート

活動期間 平成30年7月1日～令和元年6月30日



発行日 令和元年12月23日

美土利建設工業株式会社

# 目次 (contents)

---

## エコアクション21 環境経営レポート

◆ 01 取組の対象組織

◆ 02 認証・登録の対象組織・活動

◆ 03 環境経営方針

◆ 04 環境経営目標

環境経営目標の実績・取組結果・評価・次年度の目標

◆ 05 環境経営計画

環境経営計画に基づき実施した  
取組内容・実績・評価・次年度の目標

◆ 06 環境関連法規制等の順守状況の確認  
及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

◆ 07 代表者による全体の評価と見直し

---



## 1. 取組の対象組織

### (1) 名称及び代表者名

美土利建設工業株式会社

代表取締役 宮本 雅史

### (2) 所在地

本社

徳島県徳島市下助任町1-4

資材倉庫(賃貸)

徳島県板野郡北島町北村字大黒96-2

資材置場

徳島県板野郡北島町北村字鍋井69-1, 69-2, 69-3

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者及び担当者

田中 敦子

TEL:088-622-2507

FAX:088-622-2558

E-mail: midorikk@shirt.ocn.ne.jp

URL: http://midori-kk.co.jp

### (4) 事業内容

総合建設業(特定建設業)

徳島県知事許可(特-29)第602号

土木工事業

建築工事業

大工工事業

とび・土工工事業

石工事業

屋根工事業

タイル・れんが・ブロック工事業

鋼構造物工事業

ほ装工事業

内装仕上工事業

水道施設工事業

解体工事業

一級建築士事務所

徳島県知事登録 第71041号

宅地建物取引業

徳島県知事(9)第1653号

### (5) 事業の規模

完成工事高

113,299 万円/年(2019年度)

工事件数

166 件

従業員

16 名

本社延べ面積

326.1 m<sup>2</sup>

資材倉庫(賃貸)延べ面積

188.0 m<sup>2</sup>

資材置場延べ面積

800.1 m<sup>2</sup>

### (6) 事業年度

(自)7月1日 (至)6月30日

## 2. 認証・登録の対象組織・活動

上記記載内容と同じ(全組織)を対象とする



### 3. 環境経営方針

#### 基本理念

美土利建設工業(株)の事業活動(総合建設業)を通して、地域・地球環境保全が人類共通の重要な課題の一つであることを充分認識し、自然を採り入れた快適空間の提供、或いは自然と共存・共生しながら廃棄物“ゼロ”を目指す循環型社会システムを構築し、社会貢献に努めます。

#### 方針

(1) 当社の事業活動 総合建設業に関わる環境影響を常に認識・理解し、長期的ビジョンに立って従業員一丸となり各部署との連携を密にし、全体プロセスの最適化を図り環境への取組と継続的な環境負荷の低減を目指し、又、環境経営の継続的改善を誓約し、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減(総エネルギー使用量の削減)
- ② 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- ③ 水使用量の削減
- ④ 環境配慮型施工の推進
- ⑤ 地域清掃活動等の社会貢献活動

(2) 事業活動に関わる環境関連法規、条例、その他の要求事項を遵守します。

上記の方針達成のために目標を設定し、環境活動計画に従って実施します。  
また定期的に見直し、環境経営システムを推進し、全従業員に周知します。

制定日 平成23年11月25日

改訂日 平成30年7月6日

美土利建設工業株式会社

代表取締役 宮本 雅史



#### 4. 環境経営目標・中長期目標

- (1) 2015年度実績を基準として二酸化炭素排出量、電力使用量、燃料使用量、廃棄物排出量及び水使用量は 3 %削減する。
- (2) 社会貢献活動は1年間で12回
- (3) 環境配慮は計画工程／ 実施工程で計算し、計画工程内に完成すると100%とする。

##### 全体

項 目	2015年度 2015年7月1日～ 2016年6月30日 実績(基準値)	2016年度 目標基準比 1%削減	2017年度 目標基準比 2%削減	2018年度 目標基準比 3%削減
二酸化炭素排出量・事務所 (kg-CO2)	92,825	91,897	90,969	90,040
〃 売上原単位 (kg-CO2/売上高[億])	8,927	8,838	8,749	8,659
完成工事高(万円)	103,980			
電力使用量 (kWh/年)	28,077	27,796	27,515	27,235
燃料使用量	ガソリン (L/年)	20,515	20,310	20,105
	軽油 (L/年)	10,025	9,925	9,825
一般廃棄物(コピ-用紙) (t/年)	0.44	0.44	0.43	0.43
水使用量 (m3/年)	1,111	1,100	1,089	1,078
社会貢献活動(清掃活動)(5人/月)	年 12 回	年 12 回	年 12 回	年 12 回
産業廃棄物総排出量(t)	3,006.10	2,976.04	2,945.98	2,915.92
産業廃棄物再現化率(%)	89.35	90.24	91.14	92.03
環境配慮(%) 計画工程／ 実施工程	100.00	100.00	100.00	100.00

##### 事務所

項 目	2015年度 2015年7月1日～ 2016年6月30日 実績(基準値)	2016年度 目標基準比 1%削減	2017年度 目標基準比 2%削減	2018年度 目標基準比 3%削減
二酸化炭素排出量・事務所 (kg-CO2)	70,071	69,370	68,670	67,969
〃 売上原単位 (kg-CO2/売上高[億])	6,739	6,672	6,604	6,537
電力使用量 (kWh/年)	15,058	14,907	14,757	14,606
燃料使用量	ガソリン (L/年)	20,364	20,160	19,957
	軽油 (L/年)	4,858	4,809	4,761
一般廃棄物(コピ-用紙) (t/年)	0.44	0.44	0.43	0.43
水使用量 (m3/年)	1,111	1,100	1,089	1,078
社会貢献活動(清掃活動)(5人/月)	年 12 回	年 12 回	年 12 回	年 12 回

##### 現場

項 目	2015年度 2015年7月1日～ 2016年6月30日 実績(基準値)	2016年度 目標基準比 1%削減	2017年度 目標基準比 2%削減	2018年度 目標基準比 3%削減
二酸化炭素排出量・現場 (kg-CO2)	22,754	22,526	22,299	22,071
〃 売上原単位 (kg-CO2/売上高[億])	2,188	2,166	2,145	2,123
電力使用量 (kWh/年)	13,019	12,889	12,759	12,628
燃料使用量	ガソリン (L/年)	151	149	148
	軽油 (L/年)	5,167	5,115	5,064
産業廃棄物総排出量(t)	3,006.10	2,976.04	2,945.98	2,915.92
産業廃棄物再現化率(%)	89.35	90.24	91.14	92.03
環境配慮(%) 計画工程／ 実施工程	100.00	100.00	100.00	100.00

※四国電力の電気事業者別二酸化炭素排出係数を2015年は 0.518(kg-CO2) とする。



## 4-2. 環境経営目標の実績・取組結果・評価・次年度の目標

(1) 2018年度の目標値は2015年7月1日～2016年6月30日の数値の3%削減の数値とした。

(期間 2018年7月1日～2019年6月30日)

### 全体

項 目	目標値 (1年間)	取組み期間実績 (2018.7.1～ 2019.6.30)	達成率(%)	評価	
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	90,040	80,268	100%以上		
〃 売上原単位 (kg-CO2/売上高[億])	8,659	6,690	100%以上	◎	
完成工事高(万円)		124,750			
電力使用量 (kWh/年)	27,235	28,254	96 %	○	
燃料使用量	ガソリン (L/年)	19,900	18,710	100%以上	◎
	軽油 (L/年)	9,724	8,557	100%以上	◎
一般廃棄物(コピ-用紙) (t/年)	0.43	0.38	100%以上	◎	
水使用量 (m3/年)	1,078	1,317	82 %	○	
社会貢献活動(清掃活動)(5人/月)	年 12 回	11 回	92 %	○	
産業廃棄物総排出量(t)	2,915.92	1,700.81	100%以上	◎	
産業廃棄物再現化率(%)	92.03	93.30	100%以上	◎	
環境配慮(%) 計画工程/ 実施工程	100.00	100.00	100 %	◎	

### 事務所

項 目	目標値 (1年間)	取組み期間実績 (2018.7.1～ 2019.6.30)	達成率(%)	評価	
二酸化炭素排出量・事務所 (kg-CO2)	67,969	66,863	100%以上		
〃 売上原単位 (kg-CO2/売上高[億])	6,537	5,572	100%以上	◎	
電力使用量 (kWh/年)	14,606	15,727	93 %	○	
燃料使用量	ガソリン (L/年)	19,753	18,701	100%以上	◎
	軽油 (L/年)	4,712	5,902	80 %	△
一般廃棄物(コピ-用紙) (t/年)	0.43	0.38	100%以上	◎	
水使用量 (m3/年)	1,078	1,317	82 %	○	
社会貢献活動(清掃活動)(5人/月)	年 12 回	11 回	92 %	○	

### 現場

項 目	目標値 (1年間)	取組み期間実績 (2018.7.1～ 2019.6.30)	達成率(%)	評価	
二酸化炭素排出量・現場 (kg-CO2)	22,071	13,405	100%以上		
〃 売上原単位(kg-CO2/売上高[億])	2,123	1,117	100%以上	◎	
電力使用量 (kWh/年)	12,628	12,527	100%以上	◎	
燃料使用量	ガソリン (L/年)	146	9	100%以上	◎
	軽油 (L/年)	5,012	2,655	100%以上	◎
産業廃棄物総排出量(t)	2,915.92	1,700.81	100%以上	◎	
産業廃棄物再現化率(%)	92.03	93.30	100%以上	◎	
環境配慮(%) 計画工程/ 実施工程	100.00	100.00	100 %	◎	

※四国電力の電気事業者別二酸化炭素排出係数を2015年は 0.518(kg-CO2) とする。

\* 評価 ◎ : 100%以上、○ : 80%以上、△ : 50%以上、× : 50%未満



### 4-3. 環境経営目標・中長期目標 2019年以降

(1) 2018年度実績を基準として二酸化炭素排出量、電力使用量、燃料使用量、廃棄物排出量

及び水使用量は 1 %削減する。

(2) 社会貢献活動は1年間で12回

(3) 環境配慮は計画工程／実施工程で計算し、計画工程内に完成すると100%とする。

#### 全体

項 目	2018年度 2018年7月1日～ 2019年6月30日 実績(基準値)	2019年度 目標基準比 1%削減	2020年度 目標基準比 2%削減	2021年度 目標基準比 3%削減
二酸化炭素排出量・事務所 (kg-CO2)	80,748	79,941	79,133	78,326
〃 売上原単位 (kg-CO2/売上高[億])	6,730	6,663	6,595	6,528
完成工事高(万円)	124,750			
電力使用量 (kWh/年)	28,254	27,971	27,689	27,406
燃料使用量	ガソリン (L/年)	18,710	18,523	18,336
	軽油 (L/年)	8,557	8,471	8,386
一般廃棄物(コピ-用紙) (t/年)	0.38	0.38	0.37	0.37
水使用量 (m3/年)	1,317	1,304	1,291	1,277
社会貢献活動(清掃活動)(5人/月)	年 12回	年 12回	年 12回	年 12回
産業廃棄物総排出量(t)	1,700.81	1,683.80	1,666.79	1,649.79
産業廃棄物再現化率(%)	93.30	94.23	95.17	96.10
環境配慮(%) 計画工程／実施工程	100.00	100.00	100.00	100.00

#### 事務所

項 目	2018年度 2018年7月1日～ 2019年6月30日 実績(基準値)	2019年度 目標基準比 1%削減	2020年度 目標基準比 2%削減	2021年度 目標基準比 3%削減
二酸化炭素排出量・事務所 (kg-CO2)	67,131	66,460	65,788	65,117
〃 売上原単位 (kg-CO2/売上高[億])	5,595	5,539	5,483	5,427
電力使用量 (kWh/年)	15,727	15,570	15,412	15,255
燃料使用量	ガソリン (L/年)	18,701	18,514	18,327
	軽油 (L/年)	5,902	5,843	5,784
一般廃棄物(コピ-用紙) (t/年)	0.38	0.38	0.37	0.37
水使用量 (m3/年)	1,317	1,304	1,291	1,277
社会貢献活動(清掃活動)(5人/月)	年 12回	年 12回	年 12回	年 12回

#### 現場

項 目	2018年度 2018年7月1日～ 2019年6月30日 実績(基準値)	2019年度 目標基準比 1%削減	2020年度 目標基準比 2%削減	2021年度 目標基準比 3%削減
二酸化炭素排出量・現場 (kg-CO2)	13,617	13,481	13,345	13,208
〃 売上原単位 (kg-CO2/売上高[億])	1,135	1,124	1,112	1,101
電力使用量 (kWh/年)	12,527	12,402	12,276	12,151
燃料使用量	ガソリン (L/年)	9	9	9
	軽油 (L/年)	2,655	2,628	2,602
産業廃棄物総排出量(t)	1,700.81	1,683.80	1,666.79	1,649.79
産業廃棄物再現化率(%)	93.30	94.23	95.17	96.10
環境配慮(%) 計画工程／実施工程	100.00	100.00	100.00	100.00

※四国電力の電気事業者別二酸化炭素排出係数を2019年は 0.535(kg-CO3) とする。



## 5. 環境経営計画

作成日 2019年10月29日  
改定日 2017年9月13日

環境方針	目 標	取組手段	対象(全体・本社は事務局長、営業所は部門長名)	日 程	責任者・担当者
CO2排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量削減 基準年度18年度の1%削減 19年度目標値 27,971 (kWh)	1. 夏季エアコン28°C(開始時期を極力遅らす) 2. 冬季エアコン20°C 3. 年一回エアコン清掃 4. 効率的な仕事をする 5. 扇風機との併用 6. 使っていないコンセントを抜く	○で囲む: 事務所 (○) 現場 (○)	通年	事務所:環境事務局 現場:現場管理者
	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減 基準年度18年度の1%削減 19年度目標値 18,523 (L)	1. エコドライブの励行(10カ条) 2. 適正な車両整備(空気圧等) 3. 効率的な業務の徹底(段取り) 4. 四車両以上の車間距離の徹底 5. 適切なルート選定	事務所 (○) 現場 (○)	通年	事務所:環境事務局 現場:現場管理者
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物(コピー用紙)の削減 基準年度18年度の1%削減 19年度目標値 0.38 (t)	1. 極力用紙からPDFに変更 2. プレビュー徹底 3. 情報公開文書は裏紙を使用する 4. メール&ファクスにて通達	事務所 (○) 現場 (—)	通年	事務所:環境事務局
	産業廃棄物再現化率 基準年度18年度の1%削減 19年度目標値 94.23 %	1. 支障なき箇所に再利用を行う 2. 有価物の選別	事務所 (—) 現場 (○)	発生毎	現場:現場管理者
水使用量の削減	基準年度18年度の1%削減 19年度目標値 1,304 (m3)	1. 節水バルブを80%に調整する 2. 節水型便器の情報を収集する 3. 倉庫に雨水の有効利用(雨水タンク等)	事務所 (○) 現場 (—)	通年	事務所:環境事務局
環境配慮	計画工期達成 100 (%)	1. クリティカルパスの管理 2. 施工図の精度向上	事務所 (—) 現場 (○)	工事毎	現場:現場管理者
会社周辺の清掃及び支援活動	年12回の活動 (5人/月) 12(回)	1. 会社周辺の1ヶ月に1回の清掃	事務所 (○) 現場 (—)	毎月1回 第4土曜日	事務所:環境事務局



## 5-2. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・実績・評価・次年度の目標

2018年(2018年7月～2019年6月)1年間

	取組項目	達成状況	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出の削減	電力使用量(基準年度より2%削減) ・ 夏季エアコン28℃(開始時期を極力遅らす) ・ 冬季エアコン20℃ ・ 年一回エアコン清掃 ・ 効率的な仕事をする ・ スイッチ付延長コードの使用	○	夏場の猛暑、冬場の低温等の異常気象が続き エアコンの使用量が増えて、目標達成できなかった。 小まめな温度設定のチェック、変更、 スイッチのオン・オフで対応してゆく。
	燃料使用量(基準年度より2%削減) ・ エコドライブの励行(10カ条) ・ 適正な車両整備(空気圧等) ・ 効率的な業務の徹底(段取り) ・ 四車両以上の車間距離の徹底 ・ 適切なルート選定	◎	今期は県外の現場があったが 社員の意識向上により目標達成できた。 次年度も目標達成できるように取り組む。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物(コピー用紙)の削減(基準年度より2%削減) ・ 極力用紙からPDFに変更 ・ プレビュー徹底 ・ 情報公開文書は裏紙を使用する ・ メールにて通達	◎	事務所の一般廃棄物の削減は、 社員の意識向上により目標達成できた。 大量の画像資料などもメールデータでの送受信が多くなった。 次年度以降も継続していく。
	産業廃棄物再資源化率(基準年度より2%削減) ・ 支障なき箇所に再利用を行う ・ 有価物の選別	◎	社員の意識向上により目標達成できた。 次年度以降も継続していく。
	水使用量の削減(基準年度より2%削減) ・ 節水バルブを80%に調整する ・ 節水型便器の情報を収集する ・ 倉庫に雨水の有効利用(雨水タンク等)	○	3年前の基準年度よりアパートの入居者数が増えたことにより水使用量が増加したと推測される。 次年度以降も継続して、水使用量のチェックを欠かさないようにする。
	環境配慮(計画工程/実施工程) ・ クリティカルパスの管理 ・ 施工図の精度向上	◎	目標達成のため、社員が意識向上に努め、 工程の管理がスムーズに行なわれた。 次年度以降も継続していく。
	社会貢献活動 ・ 会社周辺の1ヶ月に1回の清掃	◎	社員の意識向上により清掃・美化活動は目標達成できた。 次年度以降も継続していく。

\* 評価 ◎ : 100%以上、○ : 80%以上、△ : 50%以上、× : 50%未満



## 6. 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

※この1年間該当しなかった場合は該当なしと記載

環境法規制等の名称	要求事項	順守状況の確認	判定
廃棄物処理法	委託契約の締結	確認	○
	マニフェストの交付	順守	
	廃棄物保管場所設置看板表示	順守	
労働安全衛生法	石綿等の除去作業(封じ込め、囲い込み作業含む)	順守	○
フロン排出抑制法	簡易点検・定期点検を実施、点検・整備の記録	順守	○
リサイクル法	再資源利用計画書・実施書の作成	順守	○
	再資源利用促進計画書・実施書の作成		
再資源利用省令	再資源利用計画書・実施書の作成	順守	○
	再資源利用促進計画書・実施書の作成		
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書と完了報告書作成 知事への届出書	順守	○
容器包装リサイクル法	市町村が定めた分別の基準に従い 容器包装廃棄物も適正に分別排出する	順守	○
建設廃棄物処理マニュアル	収集運搬業者、処分業者の許可証確認 中間処理場、最終処分場の確認	順守	○
石綿含有廃棄物等処理マニュアル	石綿含有廃棄物	該当なし	—
大気汚染防止法	特定粉じん等排出作業	該当なし	—
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	排出ガス対策型であることの確認	順守	○
騒音規制法	市町村へ事前確認 届出書(規則様式第9、但し条例等上乘せ規定有り)	該当なし	—
振動規制法	市町村へ事前確認 届出書(規則様式第9、但し条例等上乘せ規定有り)	該当なし	—
浄化槽法	設置の届出、使用廃止後30日以内の届出	該当なし	—
消防法	少量危険物の貯蔵・取扱管理記録 あらかじめ所轄消防長又は消防署長に届出	順守	○
建設工事公衆災害防止対策要綱	地盤沈下・電波障害・粉塵対策	該当なし	—
作業所で同意するその他の要求事項	仕様書・近隣協定・近隣からの要望で同意するもの 発注者からの要望	書類の確認・順守	○
建設業の環境自主行動計画第4版	環境リスクの低減・地球温暖化対策 建設副産物対策・有害物質・化学物質対策	順守	○
地方自治体の各条例	条例に従う	書類の確認・順守	○

環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

近隣住民から特に指摘は無く、また訴訟等も同様に1件もありませんでした。

## 7. 代表者による全体の評価と見直し

今年も例年通りの成果を上げることができた。道路美化運動も冬の花の選定につまづいたが、誰かに依る手を加えられた痕跡が見られた。この美化運動が地域住民の方達に広がればと私共の思うところである。